

## 特別企画プログラム

2018年9月7日(金) 第1会場 10階 国際会議場

### シンポジウム1 「血液末梢神経バリア」

9:00 ~ 11:00

座長：桑原 聡 (千葉大学 神経内科学)  
三上 容司 (横浜労災病院 整形外科)

- SY1-1 血液神経関門の概要とその細胞学的特性  
清水 文崇 (山口大学大学院医学系研究科 神経内科学)
- SY1-2 免疫性ニューロパチーとBNB  
桑原 聡 (千葉大学大学院医学研究院 脳神経内科学)
- SY1-3 整形外科領域の末梢神経障害におけるBlood Nerve Interfaceの役割  
平田 仁 (名古屋大学大学院 医学系研究科 手外科)
- SY1-4 血液神経関門 (BNB) の破綻をどのように修復するか  
～ヒト由来BNB構成細胞株による *in vitro* BNB model を用いた治療戦略～  
竹下 幸男 (山口大学大学院医学系研究科 神経内科学)

### 教育講演1

11:00 ~ 12:00

座長：池田 昭夫 (京都大学 てんかん・運動異常生理学講座)

#### 「腕神経叢麻痺治療の現況」

土井 一輝 (小郡第一総合病院)

### ランチョンセミナー1

12:10 ~ 13:10

座長：関口 兼司 (神戸大学 神経内科学分野)

#### LS1 「CIDPの診断と新しいIVIg療法」

野寺 裕之 (徳島大学病院 神経内科)

共催：一般社団法人日本血液製剤機構

### 招待講演

13:20 ~ 14:20

座長：神田 隆 (山口大学 神経内科学講座)

#### 「Indications and Usefulness of Nerve Biopsy」

Gérard Said (Centre Médical Bastille, France)

## 教育講演2

16:40～17:40

座長：千葉 厚郎（杏林大学 神経内科）

## 「Pathogenesis and therapeutic strategies in CIDP」

Bernd C. Kieseier（Department of Neurology, Heinrich-Heine University, Düsseldorf, Germany/  
Biogen Inc., Cambridge, MA, USA）

## イブニングセミナー1 「補体と重症筋無力症」

18:10～19:10

座長：楠 進（近畿大学 神経内科）

## ES1-1 補体制御療法の幕開け ～PNHをモデルに～

川口 辰哉（熊本保健科学大学 保健科学部 医学検査学科）

## ES1-2 難治性全身型MGに対するソリリス（Eculizumab）の適応

今井 富裕（札幌医科大学保健医療学部 / 附属病院神経内科）

共催：アレクシオンファーマ合同会社

2018年9月7日（金）第2会場 8階 801大会議室

## ランチョンセミナー2

12:10～13:10

座長：安東由喜雄（熊本大学 脳神経内科分野）

## LS2 「手根管症候群に潜む疾患の鑑別と治療

（TTR-FAP：トランスサイレチン型家族性アミロイドポリニューロパチー）」

山下 太郎（熊本大学 脳神経内科 / 熊本大学医学部附属病院 神経難病診療体制構築事業・  
アミロイドーシス診療センター）

共催：ファイザー株式会社

## イブニングセミナー2 「末梢神経障害の鑑別のポイント～CIDPを中心に～」

18:10～19:10

座長：土井 一輝（小郡第一総合病院）

## ES2-1 頸椎症と末梢神経障害との鑑別診断

安藤 哲朗（安城更生病院）

## ES2-2 末梢神経障害の中でどのようにCIDPをみつけ診療するか

海田 賢一（防衛医科大学校 神経・抗加齢血管内科）

共催：CSL ベーリング株式会社

**2018年9月8日(土) 第1会場 10階 国際会議場**

**シンポジウム2 「末梢神経損傷治療の課題と将来展望：神経再生メカニズムの観点から」 9:00～11:00**

座長：平田 仁（名古屋大学 手の外科）  
吉良 潤一（九州大学 神経内科学教室）

- SY2-1 脂質を介した炎症制御による末梢神経再生・神経障害性疼痛制御  
木山 博資（名古屋大学 大学院医学系研究科 機能組織学）
- SY2-2 代謝異常に伴う神経再生障害の解析－シュワン細胞株の有用性－  
新見 直子（公益財団法人東京都医学総合研究所 糖尿病性神経障害プロジェクト）
- SY2-3 iPS細胞を用いた慢性期頸髄損傷治療  
鈴木 秀典（山口大学大学院医学系研究科整形外科学 /Division of Genetics and Development, Krembil Research Institute, Toronto, Canada）
- SY2-4 脱神経筋を治療ターゲットとした末梢神経損傷治療  
栗本 秀（名古屋大学大学院医学系研究科 手の外科）
- SY2-5 形成外科における末梢神経損傷治療の課題と展望  
～顔面神経麻痺再建と関連基礎研究を中心に～  
林 礼人（順天堂大学医学部附属 浦安病院 形成外科・再建外科）
- SY2-6 前医での腕神経叢損傷再建術後の成績不良例に対する筋肉移植術による機能再建  
服部 泰典（山口県厚生連小郡第一総合病院 整形外科）

**特別講演**

11:00～12:00

座長：楠 進（近畿大学 神経内科）

**「iPS細胞と遺伝子改変霊長類を用いた神経疾患の研究」**

岡野 栄之（慶應義塾大学医学部生理学教室）

**ランチオンセミナー3 「ギラン・バレー症候群の予後改善に向けて」 12:10～13:10**

座長：清水 優子（東京女子医科大学 脳神経内科）

- LS3-1 末梢血幹細胞移植とギラン・バレー症候群  
川本 未知（神戸市立医療センター中央市民病院 神経内科）
- LS3-2 ギラン・バレー症候群の新規治療展望  
三澤 園子（千葉大学大学院医学研究院 脳神経内科学）

共催：帝人ファーマ株式会社

## シンポジウム3 「神経痛性筋萎縮症」

13:20 ~ 14:50

座長：加藤 博之（信州大学 整形外科（運動機能学教室））  
野村 恭一（埼玉医科大学総合医療センター 神経内科）

- SY3-1 概要（疫学・症候・病態を含めて）  
池田 修一（岡谷市民病院 総合診療科）
- SY3-2 神経痛性筋萎縮症の電気生理学的検査所見  
関口 兼司（神戸大学大学院医学研究科神経内科学）
- SY3-3 神経痛性筋萎縮症における画像検査  
澤田 智一（静岡市立静岡病院 整形外科）
- SY3-4 内科的治療アプローチ  
宮本 勝一（近畿大学医学部神経内科）
- SY3-5 特発性前・後骨間神経麻痺に対する外科的治療アプローチ  
加藤 博之（信州大学医学部整形外科）

## シンポジウム4 「痛みの臨床」

15:00 ~ 16:30

座長：小池 春樹（名古屋大学 神経内科学）  
酒井 昭典（産業医科大学 整形外科学教室）

- SY4-1 痛みの神経生理  
鈴木 千恵子（青森県立中央病院 脳神経内科）
- SY4-2 痛みの神経病理  
小池 春樹（名古屋大学大学院医学系研究科 神経内科）
- SY4-3 治療（内科）  
上坂 義和（国家公務員共済組合連合会 虎の門病院神経内科）
- SY4-4 手根管症候群の疼痛に対する治療効果  
岩月 克之（名古屋大学 手の外科）
- SY4-5 神経因性疼痛に対する機能外科的アプローチ  
井本 浩哉（山口大学大学院 医学系研究科 脳神経外科）

## ランチョンセミナー4

12:10～13:10

座長：岡 伸幸（京都近衛リハビリテーション病院）

## LS4 「超微形態からみたニューロパチーの病態と治療 ～CIDPの最新の話を含めて～」

小池 春樹（名古屋大学大学院医学系研究科 神経内科）

共催：日本製薬株式会社

## 教育講演3 「末梢神経疾患の新しい疾患概念」

13:20～14:20

座長：高嶋 博（鹿児島大学 脳神経内科・老年病学）

金谷 文則（琉球大学 整形外科科学講座）

- 1 自己抗体陽性CIDPの臨床像および病態機序  
緒方 英紀（九州大学大学院医学研究院神経内科学）
- 2 自己免疫性自律神経節障害（AAG）  
中根 俊成（熊本大学大学院生命科学研究部 神経内科学 /  
熊本大学医学部附属病院 分子神経治療学寄附講座）
- 3 「くびれ」を伴う末梢神経障害 –特発性前/後骨間神経麻痺とNeuralgic Amyotrophy  
に着目して  
越智 健介（三尾整形外科 / 額田医学生物学研究所）

2018年9月8日(土) 第3会場 9階 海峡ホール

---

産業医学講座

9:00 ~ 10:00

座長：松岡 雅人（東京女子医科大学 衛生学公衆衛生学（一））

「障害就労者における神経調節系の課題（障害就労工場産業医としての経験より）」

田島 文博（和歌山県立医科大学 リハビリテーション医学講座）

---

メディカルスタッフ・レジデント実技セミナー

10:00 ~ 12:00

座長：桑原 聡（千葉大学 神経内科学）

MSR-1 「神経伝導検査の基本原理」

幸原 伸夫（神戸市立医療センター中央市民病院 神経内科）

MSR-2 「神経伝導検査：実践」

国分 則人（獨協医科大学 神経内科）

MSR-3 「神経伝導検査：診断への流れとピットフォール」

野寺 裕之（徳島大学病院神経内科）

共催：日本光電工業株式会社